

2020年度前期講座 5月9日(土)～10月3日(土)

平日 PM6:45～9:15

土曜 PM1:00～4:30

●2020年度前期開講講座

5月9日(土) 日本社会に朝鮮学校があることの意味

講師=金勇大 (朝鮮大学校教育学部准教授)

『朝鮮人になるということ

千葉朝鮮初中級学校初級部新1年生の1年間の記録』上映

●5月16日(土) 光州蜂起から40年、そして2020年総選挙

——いま韓国で何が問われているか？

報告=李泳采 (恵泉女学園大学教授)

●5月23日(土) 在日朝鮮人が辺野古で闘うことの意味

——「朝鮮人軍夫」の映像を上映予定

報告=金治明 (沖縄戦と朝鮮人強制連行を記録する会)

●6月6日(土) 戦争とカニバリズム

——日本軍による人肉食事件が問いかけるもの

報告=永尾俊彦 (ジャーナリスト)

●6月9日(火) 侵略国家アメリカ—その歴史と真実

——南北戦争・西部開拓・メキシコ侵略/キューバ・ベネズエラ・ニカラガ攻撃

講師=富山栄子 (国際交流平和フォーラム代表)

●6月20日(土) 反独占・平和と社会主義を求めて闘う青年たち

——世界民主青年連盟の活動から

報告=近藤和樹 (社会主義青年同盟委員長)



●最寄りの交通機関
 ・都営大江戸線「本郷三丁目」駅⑤番出口 徒歩4分。
 ・東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」駅②番出口 徒歩5分。

HOWSで学ぼう

抵抗と変革を志すひとびとへ



国際婦人デー・3・7東京集会の様子

●コロナ禍を奇貨として壊憲を企む安倍政権

安倍首相は、4月7日新型コロナ特措法に基づく緊急事態宣言を発令しました。期間は5月6日までの1か月間、対象区域は東京など7都府県（その後全国に拡大）です。安倍は外出自粛要請の効果が出なければ、期間延長、新たな法整備もと言っています。

このような宣言を出すこと自体が新型コロナ感染症対策が後手に回っていることの証拠です。学校は休校になり、文化施設、福祉施設が閉鎖され、わたしたちの生活のための活動が大幅に制限されました。労働者は解雇され、教育の権利は奪われ、生命と生活が脅かされています。休業を要請するならば、それに対する補償がなされるべきです。安倍政権は緊急経済対策をぶち上げていますが、とうていわたしたちの生活保障にはなりません。

安倍政権がPCR検査ほか新型コロナウイルス感染検査をほとんどしないできたのは、五輪のため、医療体制の不備のためです。そのツケがまわり、爆発寸前まで感染は広がっています。隠された感染は膨大なものでしょう。これはイタリア、スペインなどと同様に医療に必要な人と費用を削減してきたからです。医療崩壊は目前まで迫っています。

大量の武器を買い、不要な辺野古新基地に大金を投入する安倍政権。わたしたちは自らの生命と生活を守るために立ち上がらねば、それらを奪われてしまいます。

悪辣にも安倍政権は緊急事態条項を憲法にと改憲を呼びかけています。コロナ禍を機に強権体制を作ろうとしているのです。

●日本そして世界の侵略の歴史を学ぼう！

日本、イタリア、スペイン、米国などの医療体制の危機はなぜ

起こっているのか。それを知るには歴史を学ばねばなりません。またコロナ危機を克服する試みがキューバ、韓国、朝鮮、中国などで行なわれています。それらの教訓を学び、わたしたちの生命と生活、文化が保障される社会を目指すことが必要です。

今期HOWSでは、侵略国家としての米国の歴史と現実を取り上げます。また戦争国家としての日本、人民を搾取し、侵略に突き進む日本国家の歴史と現在を検証します。そして朝鮮、アジアから見た日本国憲法のありかたを問います。日本の労働者がなぜ有効な反撃ができないのかも考えます。インターナショナルで階級的・歴史的な視点がなぜ必要かを共に学びましょう。

●HOWSとは？

2000年に開講したHOWSでは、さまざまなテーマをつうじて、わたしたちが生きる21世紀の現代世界がいったいどのような姿をしているのか、そしてそれにわたしたちがどのようにかわり、変革の担い手になりえるのかを一貫して追求してきました。HOWSは講座に参加する全員で、この社会を根底から変革する思想と文化の創造、その方法をも探求する場を創りあげることをめざしています。「講師=教える人」、「受講生=教えられる人」ではなく、ともに討論してゆく場です。1回の講座で問題がすべて理解でき、解答が与えられるわけではありません。また毎回の講座を通じて、新たな疑問や課題が見つかることもあります。問題を多角的かつ、継続的に考えることができるのも、HOWS講座の魅力です。

現代への疑問と不満を抱き、その矛盾の解決をめざし、そのための真実の思想と文化を求めあなたの参加を待っています！